

練馬区 小中一貫教育

推進方策

平成24年（2012年）2月

練馬区教育委員会

はじめに

全国の各自治体で小中一貫教育校の開校が相次ぎ、文部科学省中央教育審議会の学校段階間の連携・接続等に関する作業部会においても、小中一貫教育の制度化に向けての検討が始まるなど、小中一貫教育の取組が広がりをみせています。

練馬区においては、平成14年度に始まった下石神井小学校と石神井南中学校での小中連携教育の研究を契機として、全区立小中学校で小中連携教育に取り組んできました。平成23年4月には、区内初の施設一体型小中一貫教育校「大泉桜学園」を開校したところです。

このたび、学識経験者や学校関係者で構成する「小中一貫・連携教育推進検討会」において、施設が離れている小中学校における小中一貫教育について、9か月間にわたり検討していただき、「練馬区小中一貫教育推進方策」を取りまとめていただきました。

小学校と中学校が連携・協力して教育活動を行う小中一貫教育は、児童・生徒にとってさまざまな効果が期待できるところですが、実際の取組にあたっては、小学校と中学校との距離、通学区域の重なり方や地域性など、さまざまな条件を考慮していく必要があります。

練馬区教育委員会としましては、学校ごとの特色やこれまでの取組を踏まえながら、全区的に9年間を見通した教育を進め、練馬の子供たちの学力・体力を伸ばし、豊かな人間性・社会性を身に付け、不登校などの生活指導上の課題を減らしていくことのできる小中学校をめざしていきたいと考えております。その実現のために、各小中学校において、この推進方策に基づいた取組を進めてまいります。

最後に、推進方策の答申にご尽力いただきました、目白大学教授の小林福太郎先生をはじめ、保護者や校長会の代表など検討会委員の皆様には、厚く御礼申し上げます。

平成24年2月

練馬区教育委員会 教育長 河 口 浩

練馬区小中一貫教育 推進方策 目次

第1章 推進方策の作成について	1 ページ
1 小中連携の取組の経緯	
2 小中一貫教育校の設置と小中一貫教育資料の作成	
3 小中一貫教育の充実に向けた課題と推進方策の検討	

第2章 練馬区が取り組む小中一貫教育	2 ページ
1 小中一貫教育の必要性	
2 練馬区の小中一貫教育の考え方と具体的な取組	

第3章 小中一貫教育の全区的展開に向けて	10 ページ
1 全区的展開の必要性	
2 中学校区別協議会を基盤として	
3 施設分離型小中一貫教育校	
4 教育委員会の役割	
5 改修・改築時の施設整備	

第4章 今後の取組と進め方	18 ページ
1 今後の取組	
2 今後の進め方	

(巻末資料)

- 資料1 小中一貫・連携教育研究グループ取組状況
- 資料2 「中学校への進学意識」調査結果
- 資料3 中学校区別小学校一覧
- 資料4 小学校別指定中学校一覧
- 資料5 区立小中学校 位置図
- 資料6 校区別協議会を構成する小中学校数のタイプ
- 資料7 小中連携の主な取組事例
- 資料8 小中一貫・連携教育推進検討会設置要綱
- 資料9 小中一貫・連携教育推進検討会委員名簿